ブログ記事まとめ（2019年度版）

著者：のってい一

Copyright © ノッティー All Rights Reserved.

著作権及び利用規約

著作権について

本マニュアルは著作権法によって保護されています。
著作者の事前の許可なく以下の行為を行うことを禁じます。
・マニュアルの転売、複製、譲渡、公開（紙媒体、電子媒体、映像媒体、音声等全て）
・マニュアルの内容の引用、転載
・その他、著作者が不適切と判断する一切の行為

利用規約

本教材は、発行時点の乙の見解をまとめたものであり、その正確性を乙が保証するものではありません。投資・投機にあたっては、全て甲が自己責任で行うものとし、投資・投機によるいかなる損害が発生しても乙は責任を負わないものとします。

はじめに

どうもノッティーです！

この度は本PDFのダウンロードありがとうございます。

このPDFは、主に僕が2019年度にブログで書いた記事について一部を加筆修正して
まとめたものです。

これまでもFXに関する記事を書いてきていますが、FXは奥が深いですね（笑）
上か下かを予想するだけなはずなのに、手法、メンタル、資金管理とそれぞれについて
深掘りしていくと、話題は尽きません。

とは言っても、本PDFで書いていることが過去の記事の内容と一部被っていることも
否定できませんが、それについては「被っている内容ほど重要なんだ」と認識して下さい。

本PDFがトレードの参考になりましたら幸いです。

テクニカル分析の大前提をもう一度考えてみよう

今回は改めてテクニカル分析の大前提について考えたいと思います。

テクニカル分析の大前提は以下の3つです。

1. 市場の動きは全てを織り込む
2. 価格はトレンドを形成する
3. 歴史は繰り返す

市場がこれらの特徴を持っていなければ、テクニカル分析は機能しません。
すごく大事なことなんで、一つ一つ見ていきましょう。

1.市場の動きは全てを織り込む

テクニカルを使う上で一番大事な前提です。
市場の動きや価格というのは、**市場に関わるあらゆる要素を反映させたもの**
という考えです。

極端な言い方をすれば、どんなファンダメンタルズな情報も
ごく一部しか知られていないインサイダーな情報も
既に価格に反映されていることになります。

この理屈で言えば、指標発表時に相場が急変することは「あり得ない」ことでは
あるんですけど、まぁ実際には大きく動くこともあるのはご存じの通りです。

この辺の細かい分類についてはストロング、セミストロング、ウィーク・・・
といった分類がありますが、そういった分類は学者に任せて
とりあえずテクニカルを使うのであれば、現在の価格が正しい
価格は嘘をつかないと考えましょう。

逆にファンダメンタルズ分析をする場合は、
例えば「ドル円は現在のファンダメンタルズ的には100円が正しい！」と考えて、
ショートする戦略もあります。

何をベースにしてトレードするかで、
「現在の価格」に対する考え方も違ってくるわけですね。

2.価格はトレンドを形成する

「トレンドをどう定義するか？」によってトレンドそのものの解釈は
違っては来るんですが、価格は一気にビョーンと飛ぶことは少なく、
ある程度距離のあるレートにたどり着くためには、時間をかけて動きます。

例えば2020年2月終盤から3月にかけてのポン円は、
145円から124円台まで下落しました。

この時、瞬間的に124円に飛んだわけではなく、
145円からズルズルと下げながら124円まで到達しましたよね。

こういった時間をかけながら一方向に動くことが、幅広い意味での
「トレンド」になるかと思います。

これは僕らの生活における「情報」の広がりと同じです。
とある情報が出た瞬間に、世界中の皆がその情報を知るわけじゃないですよね。

例えば「100日後に死ぬワニ」の連載が始まった時から知っていた人は
少ないはずですが、連載が続いて100日目が近づくほど話題が広がって、
皆に知られるようになりました。

この情報の拡散のされ方と相場のトレンドは似たようなものだと思っています。

3.歴史は繰り返す

これは相場は似たような動き（パターン）を繰り返すという意味ですね。

相場を大雑把に言えば、トレンド相場、レンジ相場がありますし、
もう少し詳しく見ていけば特定のパターンがあります。

相場の変動に特定のパターンが繰り返し見られるのであれば、
それを活かして利益を上げていこう！というのがテクニカル分析を使う一番の目的です。

様々なインジケーターもトレード理論も、
すべては「歴史は繰り返す」の前提に成り立っています。

僕たちが過去のチャートを使って検証やバックテストをするのも、
「**相場は似たような動きを繰り返す**」ことを前提にやっているわけです。

過去の動きで利益が出せれば、将来も利益が出せるだろう・・・
という考えで検証をするわけですね。

当たり前ですけど、忘れてはいけない前提ですよね。

まとめ

今回は初心に返ってテクニカル分析をやる上での前提条件について再考しました。

多分、テクニカルの専門的な本であれば3つの前提についてはしっかりと
書かれているとは思うんですけど、チャートをずっと見ていると忘れてしまいがちです。

定期的にこの前提を思い出すことで、凝り固まった考えをリセット出来たり、
新たな発見が得られると思いますよ。

販売者が推奨する教材購入後の学習方法

今回は、僕の販売している教材の学習方法についてまとめます。

トレードの学習方法についてはこのブログでは何度も書いていますが、
最近の購入者さんとのやりとりから「どうも分かってもらっていないなぁ」
と感じることが多いので、改めて書きます。

1.教材を読む

まずは教材を複数回読んで理解してください。

どういった手法で、どういった考えで、どういった所でトレードするのか。
こういったことをしっかりと理解してください。

また、ケーススタディ集を読んで教材で学んだ情報をアウトプットしつつ
頭を整理して、更に理解を深めてください。

2.過去のチャートでエントリーポイントを見てみる

教材の内容の理解ができたら、次は過去のチャートを遡って、
僕のエントリーポイントを見てください。

僕のエントリーポイントはこのブログにアップしていますし、
サポートブログには詳しく解説したものもあります。

教材の中身を理解した後に、過去のトレードポイントを確認することで、
更に「どこでエントリー＆エグジットしたらいいか」についての理解が深まります。

何度も見て、エントリーポイントとエグジットポイントが頭の中で
イメージできるようになるまでやりましょう。

3.過去のチャートを動かして検証する

エントリーとエグジットについてしっかりと理解できたら、次からは検証に移ります。

ここからが本番と言ってもいいでしょう。

検証ではMT4やFT4を使って、過去の相場を動かしながらトレードの練習をしていきます。
最初は、僕のトレードポイントをなぞるように練習していくと良いかもしれません。

先の見えないチャートを使って検証していくと、
これまでとは違った感覚になると思います。

多くの人が「難しい」と感じるはずです。
でもコレがトレードです。

何度も何度も繰り返して、トレード技術を身につけましょう。
繰り返すことでコツがつかめてきます。

また、検証の段階で再度教材を読み直すと、見落としていた箇所が必ず見つかるはずです。
これは、教材に対する理解が深まっているからに他なりません。

新たな気付きを得たら、その気付きをネタに次の検証を行う・・・。
こういったことを続けていくことで、手法に対する理解と技術は高まり続けます。

4.デモトレード、もしくは小ロットの取引を始める

検証である程度の手応えを感じたら、デモトレード、
もしくは小ロットのリアル取引を始めます。

僕はデモとリアルどっちが良いかはその人によると思っています。

お金がかからないデモでも、真剣に取引できるなら十分ですし、
逆に少額でもお金を賭けた方が真面目にやれると思うならリアルの方が良いでしょう。

ただ、リアルの場合は熱くなりすぎてマーチンやナンピンをしないように
注意してください。

リアルタイムで動く相場でトレードすると、
これまでの検証とは更に違った感覚になると思います。

検証では勝てていたのに勝てなかったり、
検証ではできていたことができなかったり・・・。

このようになる要因は精神的な問題です。

精神的な問題を解決するには、まずは自分の動向を知ることから始まります。
相場の動向を知ろうとするだけでは勝てないのです。

そこで毎日トレードノートを書いて、相場だけでなく、自分自身も分析しましょう。

トレードノートを継続する事で、「トレードするだけ」では得られなかった
気付きが多く得られます。

・どんな局面で自分のメンタルが弱まるのか
・ルールが守れなくなる状況
・自分の得意とするエントリー
・実はトータルでは負けているのにエントリーしているポイント
・勝ちやすい時間帯

など、こういった情報は、自分でノートを付けないと得られません。
トレードの技術の向上において、何よりも価値があるのがトレードノートです。

本気で勝ちたいのであれば、トレードノートを継続して書いていきましょう。

5.徐々にロットを上げていく

デモトレードや低ロットのリアルトレードでも手応えを感じられたら、
徐々にロットを上げていきます。

ロットを上げると精神的にキツくなってトレードがぶれやすくなりますので、
調子が悪くなったら検証に戻ったり、一時的にロットを落としたりします。

また、トレードノートから得られた情報を参考に検証を続け、
様々な相場で生き残れるための技術を磨き続けます。

勝てるようになったら終わりというわけではありません。
勝ち続けるためには、常に相場と自分自身のトレードを分析し続ける必要が
あることを忘れないでください。

まとめ

以上、僕の推奨する教材の学習方法についての解説でした。

このやり方は、別に僕の教材に限った話ではありません。
どんな手法であっても、技術を身につけるための必要なステップだと思っています。

教材を購入後、絶対にやって欲しくないのが、いきなりリアルトレードに移ることです。
教材を読んだだけで理解したつもりになって、いきなりリアルに移るのは論外です。

ボクシングの本を読んだだけの、トレーニングもしていない素人が、
いきなりプロのリングに上がるようなものです。

トレード技術もなければ、トレード手法を継続するためのメンタルも伴っていない・・・。
こんな状態でトレードしたところでは、お金を失ってストレスを溜めるだけです。

トレードで勝つためには、必要なステップがあります。

「手っ取り早く勝ちたい！」と思う人には面倒に感じるかもしれませんが、
結果的にはコレが一番早く効率よく勝てるようになります。
ぜひ参考にしてください。

トレードの学び方に対しての読者様からのコメント

教材の学習方法の記事について、実際に僕の教材を学ばれて、
勝てるようになった方からコメントを頂きました。

具体的な学習方法も書かれていますのでご覧ください。

とても具体的で効果的な学習方法だと感じます。
具体的であることは行動しやすくなりますね。

例えば、試用期間中のバイトさんに
「お水のコップは静かに置きなさい。」
と指示するよりも具体的に
「お水のコップの底に小指を添えると静かに置くことができるよ。」
と指示する方が行動心理学的に上手くできます。

トレードノートに関しては今では日常になっていますし、
私にぴったりで最強のトレードマニュアルになっています。

しかし、当初はこの学習方法がめんどうでその価値もわかりませんでした。

改善工程のハードルを少し下げるために、
まずは「負けたトレード」のスクショだけをするようにしていました。

「負けパターン」だけは絶対記憶に残すようにしていたら収支が
マイナスからプラマイゼロまで行くようになりました。

そして次は「勝ったトレード」もスクショだけでなくプリントして
コメントを書いて分類して行ったら収支がプラスになって行きました。
私はどんくさくいので５分足を使ったり、エントリーポイントの精度が
良くない時もあるので１回だけはナンピンしたりして、
少しだけカスタマイズしてしまっているのですが、
おかげさまで何とか毎月プラスになっています。

受験の時に有名な参考書を持っていても本人の学習方法が間違っていると
効果を発揮できなかったことを覚えています。

学習方法も含めて方法論なのに「この参考書使えないから他の参考書を購入しよう。」
とか「参考書は手に入った。あとはいつかやろう。」とか”自己流”をしていたのでは
いつまでたっても上手くいかないように思います。

参考になることばかりですよね。
具体的に書いてくださってありがとうございます。

・トレードの改善をするために、まずは負けたトレードだけを見直す。
・その効果がテキメンだったので、次は勝ちトレードも見直す。
・習慣化できたら、トレードをして更に細かく見直す。

↓↓↓

<u>気付けばトレードノートが日常になっている。</u>

凄く良い流れだと思います。
いつまでたっても上手くいかないように思います。

確かに最初からいきなりトレードノートを完璧にやろうとするのは気が重いです。

トレードノートや見直しは凄く効果があるんですが、
それが分かるのは「実際にやった後」なので、やる前は半信半疑なんですよね・・・。

だから多くの人がノートを継続できずにトレードを垂れ流す結果になるわけです。

でも、この方のように負けトレードから少しずつ始めて、効果を実感しながら
コツコツと継続すれば、モチベーションも上がってくると思います。
やっぱり継続が強いです。
継続できること、継続できるように工夫することも技術です。

しっかりとした学習方法を実践して継続すれば、結果は出ます。
問題は実践して継続できるか？

コレにかかっているんでしょうね。

短期間で一気に資金を増やそうとしない

FXをやっていると、

・月利200%！
・10万円が半年で500万円に！
・あなたもすぐに億を目指せる！

などと言った口説き文句をよく見ますよね。
これは僕がトレードを始めた10年以上前から変わっていません。

やっぱりね、短期間で一気にお金が増やしたいと思っている人が
それだけ多いって事なんでしょう。

そりゃ誰だって短期間でお金を一気に増やしたいですよ。

でも、そうするには相応のリスクと大きな運が必要です。
トレード技術はそれほど重要ではないです。

ビットコインバブルの時に「億り人」という人たちがもてはやされましたが、
なぜ億り人になったか分かりますか？

理由は運が良かったことと、相応のリスクを取っていたからです。

バブルの時は相場が一方向に進みます。
その方向に沢山のお金を賭ければ、技術が無くても儲かります。
それだけです。

つまり、短期間で一気にお金を増やすには運が必要不可欠なんです。
自分が大きなリスクを取って張った方に動かなければお金は増えません。

でも、そんな都合の良い相場と出くわす機会なんて本当に少ないです。

なので、実際には短期間で一気に資金を増やしたい人の多くが、
無駄にリスクだけを取って、運が実らずに消えて行っているのが現状なんです。

確かに、僕も月によっては一気にお金が増えることがあります。
一番凄かったのが2010年の5月で、この時はリスク管理が甘かったことが災いして
資金が8倍ほどに増えました。

この時、僕はまだサラリーマンだったんですけど、
「専業いけるな！」と確信したんです。

たまたま相場が一方向に動いたから利益が出ただけなのに、
自分の実力・技術のおかげだと勘違いしていたんです。

で、相場の動きが普通に戻ったら負けまくり・・・・。

この時は「なんで前みたいに勝てねぇんだ！！！」と
精神的におかしくなっていたんですけど
今思えば単に運に左右されていただけなんですよね。

トレードは運の要素からは逃れられません。
でも、運の要素を減らしつつ資金の増減の波を小さくしながらも、
安定して右肩上がりにする事も可能です。

それに欠かせないのがトレードの技術です。
リスク管理、売買方法、メンタルの3つの技術があることで、
市場から退場するリスクを限りなく下げつつ利益を出し続けられるんです。

もし、相場と長く付き合いたいのであれば、運に頼るだけではダメです。
一気に増やそうと考えるのもダメです

焦らず、ゆっくり、コツコツと。
こうやっていった方が、実は着実に資金を増やせるんですよね。

検証だけではわからないこと

トレードの検証は大事です。

でも、検証が全てと言うわけではありませんし、
検証したら勝てるようになるというものでもありません。

なぜなら、検証だけでは分からないことがあるからです。
それがトレード中のメンタル面。

・ポジション保有時の緊張
・ロットを上げたときのプレッシャー
・連敗したときの不安
・利食いを失敗したときの苛つき
・連勝したときの高揚感
・検証時とリアルのローソク足のスピードの違いからくる戸惑い

など、リアルで自分のお金を賭けているからこそ感じる精神的な変化は、
検証ではどうしても再現することは難しいと思います。

検証ではそこそこ上手く行くはずなのに、
いざリアルに移ると思うようなトレードができない・・・

と頭を抱えた経験があるのは僕だけじゃないはず。

これは高さ50cmの平均台の上を歩くのと、高さ74mの平均台の上を歩くときの
恐怖心の違いと同じです。

でも、こういった精神面から来ることについては、どうしても経験が必要です。
何度も同じ事を繰り返して「慣れ」てくる事で、ようやく分かるし、身につくことです。

なので、検証で勝てる＝リアルトレードで勝てる、というわけではないんですね。

でも、別に検証に意味が無いといっているわけではありません。

検証の目的は、少なくともプレッシャーが無い状態で、
利益が出せるだけの技術を磨いたり、それを確認することです。

なので、少なくともプレッシャーが無い状態で勝てる技術があって、
始めて次のステップとしてリアルトレードに移る、というのが正しい道だと思っています。

だって、技術もメンタルも揃っていない状態でリアルに移っても当然勝てません。

勝てない原因を探ろうにも「手法が悪い」とか「やっぱメンタルだよ」とトレーダー自身
の軸がしっかりせず、グラグラ・フラフラして何も身につかないんですよね。

リアルトレードをすると、チャートが今まで違っているように見えてきます。

ではなぜそれが違うのか？
なぜ検証では淡々とやれたのにリアルになるといつも通りできないのか？

そういったことを検証にフィードバックしていくことで、更に技術が磨かれて、
徐々に検証とリアルのギャップが埋められていきます。

とりあえず勝つための技術が身についた後の検証とリアルの往復。
ここを楽しんでやれたら、先は約束されたようなモンですよ。

専業トレーダーとは何たるか？

このような質問を頂きました。

会社を辞め、専業トレーダーとしてどのように生きていくのかを真剣に考えています。

ただ、専業になると社会とのつながりが無くなってしまうことが少し怖いです。

また、税金面においてもサラリーマンは優遇されていたりするので、
会社を辞めるのに躊躇する自分もいます。

でも専業になるにしても、失敗して再就職するにしても、
若いということは武器なので（現在２６歳）早めに挑戦するべきでしょうか？

またFXのトレーダーは社会的にどのような価値があるのか、
存在価値はあるのかということを考えてしまいます。

のってぃーさんはFXの個人トレーダーの存在意義とは何だと考えていますか？
ただお金を稼ぐ手段と割り切っていますか？

よろしくお願いします。

上記の質問について、項目ごとに僕の考えを書いていきます。

専業トレーダーになるための条件

まず、僕が考える専業トレーダーになるための絶対条件として以下の2点があります。

・FX口座に入っているお金とは別に数年生きていける資金
・現状で会社の給料よりも多く稼いでいる

まずこの二つを満たさないと専業トレーダーになってはいけません。

絶対に辛い思いをします。

一応、僕はこれらの条件を満たして専業になりましたが、
それでも専業になった直後ってのは辛かったですよ・・・。

特に毎月給料が入ってこない事に対する精神的ダメージが予想外に大きかった・・・。

こんな事は了承済みで会社を辞めたはずなのに、それでもキツかったです。

それまでは自動で徴収されていた税金や保険・年金を支払わないといけない事も
結構なダメージでしたね。

「**え？なんでこんなに税金とか保険とか支払わないといけないの？**」・・・と。

固定収入がなくなり、代わりに税金や保険の支出が目に見えるようになると、
不安が大きくなって、それがトレードに反映されます。

すると言うまでもなくトレードが不調になり、苦しみ、
胃がキリキリして夜も眠れなくなる・・・という最悪な状況になるわけです。

僕は逆流性食道炎になりましたし・・・・。（一昨年もなりましたけど）
うん、辛いのよ。専業になりたての頃って。

専業トレーダーの税金事情

サラリーマンは税金面で優遇されています。

給与所得者控除というものがあって、そのおかげで見かけ上の所得は減るため、
かかってくる税金が減るわけですね。

また、厚生年金だと会社が半分負担してくれますのでそれもありがたいですよね。
ではその一方で専業トレーダーはというと・・・人によります。

国内業者でトレードする場合

国内業者の場合は、申告分離課税FXの利益にかかる税率は一律20.315%。
（所得税15%、住民税5%、復興特別所得税0.315%）

沢山稼げば稼ぐほど税率的には有利になります。
（この約20%の税率の中に住民税が入っているのがミソですよ）

海外業者でトレードする場合

海外業者の場合は所得区分が雑所得になるので、最大で45%の所得税がかかります。
これは所得税だけです。更にプラスして10%の住民税が課税されます。

海外業者はハイレバが可能なので爆発的に稼ぐことが可能ではありますが、
その分だけ税金も高いのです。

国民健康保険も痛いぞ！

忘れてしまいがちですが、個人で入らないといけない国民健康保険（国保）も高いです。
（自治体によっては国民健康保険税と呼んだりして税金感を出しています）

国保も前年の所得から金額が決まりますが、所得区分関係なく数字が出ます。

国保の金額については自治体や年齢によって違ってくるんですけど、まぁ高い。
思っている5倍くらい高い。健康なのに馬鹿みたいに高い。

ちなみに僕は年間80万円ほど支払っています・・・（上限）。
馬鹿みたいでしょ？健康体なのに。

僕は税金や保険、年金の支払いは絶対に引き落としにしません。
どれだけ国にお金を支払っているかを知って、痛税感を味わうためです。

国保のタチの悪いところは、そんなに稼いでいなくてもガッツリ取ってくるところです。
ただ、上限があるため、ある程度稼いでくると率が下がってくる事実もあります。

数年前この高い国保をやめて文芸美術国民健康保険に入ろうとしたんですが、
当たり前のように文美国保側の審査に落ちてしまいました・・・・。

専業トレーダーにはいつでもなれる

専業になるにしても、失敗して再就職するにしても、
若いということは武器なので（現在２６歳）早めに挑戦するべきでしょうか？

この気持ちは分かります。
僕も26歳の時はずっと専業トレーダーになることばかり考えていました。

だから言えます。焦ったらダメです。
焦れば焦るほどドツボにはまる。これがトレーダーの宿命です。

もし仕事を辞めて専業トレーダーになったとして、上手く行かなくて再就職する場合、
「稼げない専業トレーダー」だった期間を評価してくれる所はないでしょう。

つまり、今の職場より給与は落ちる可能性が高いと思います。
（特別な資格職・技能職を除いて）

会社を辞めて専業トレーダーになる（独立して個人営業する）というのは、
それだけでリスクを取る行為です。

そして、トレーダー仕事の本質は「リスクを見極めて評価すること」です。

トレーダーであるのならば、チャートだけでなく自分の進退に関わることについても
リスクを評価して、どの道をたどるのがベターなのかを考えましょう。

それにも関わらず、専業トレーダーになった僕がアドバイスします。
専業トレーダーになるのに年齢制限ないから、焦る必要はないぜ！

FXトレーダーの社会的価値

のってぃーさんはFXの個人トレーダーの存在意義とは何だと考えていますか？
ただお金を稼ぐ手段と割り切っていますか？

はい、トレードはビジネスです。
ビジネス＝お金を稼ぐことです。存在意義や社会的価値は一切考えていません。

まぁ存在意義や社会的な価値としては、FX業者を潤わせたり
市場に流動性を提供する等があると思いますが、正直そんなことはどーでもいいです。

これは人によって考え方が違うかもしれませんが、僕は社会貢献という言葉が大嫌いです。

こんなものは、ビジネス（お金稼ぎ）をやっている企業や人が、
自分のやっていることを正当化、もしくは顧客に対して見栄えを良くするために使う
きれい事に過ぎないと思っています。

僕はこんな人間なので、トレーダーという職業に存在意義とか社会的価値、
社会貢献は求めていません。
というか、そこそこ税金を国に納めているので十分「社会に貢献」していると思っていま

ただ、人によっては僕のような利己主義ではなく、
ビジネスを通じて人や社会に貢献したいという殊勝な考えを持った方もいるでしょう。

そういった方は、トレードではなく他の形で社会に貢献していく手立てを
持った方が良いと思います。

ただ、少なくともトレードで勝ち続けるためには、
自分の事を一番に考える必要があると思っています。

だって市場はお金の奪い合いですから。

まとめ

以上、文となってしまいました。

僕も専業になって6年くらいになります。
今回はその中で感じていることなどをまとめました。

専業トレーダーになりたい！
と思っている人は多いと思いますが、楽じゃないですよ。

当然向き不向きもあります。

社交的で誰かと関わっていたいと思っている人はまずしんどいと思います。

逆に1人で完結するビジネスが好きで、
突き詰めて考えて頑張れる人なら天職になると思います。

少なくとも僕がアドバイス出来ることとしては、
専業になりたい人は、リアルに考えなおしてみましょう。

専業トレーダーになると税金・保険、信用、立場・地位などが大きく変わります。
信用、立場・地位については丸裸のゼロになるようなものだと考えてください。

それでも専業トレーダーになりたいのなら、頑張ってみたら良いのではないでしょうか。

ハングリー精神はあるか？

FXで勝ちたい！

FXをやっていながらも、利益を出せていない人は誰もがこう思うはずです。
かつての僕も、同じように「FXで利益を出したい！！！」といつも思っていました。

皆そう思いながらも、なぜかその後の結果は、人によって大きく違ってきます。

手法、メンタル、資金管理、性格、考え方、生活スタイル、技術など
様々な要因が組み合わさって、勝てるようになるのか、それとも負けたままなのかが
決まると思いますけど、前提条件として必須だと思えるものがあります。

それは、ハングリー精神。

「何としてでもFXで利益を出す！」
という強い思いが根底にあるかないかで成長スピードは全然違ってくると思うんですよ。

例えば僕の場合は、「FXで人生を変える！」と決めつけていました。
「何とかしてFXだけで生活できるようになって、自分には合わない仕事から解放されたい
と強く思って、いつもトレード戦略について考えていました。

別に大金持ちになりたかったわけではありません。
会社依存ではなく、自分の人生を自分でコントロールしたかったからこそ、
FXで勝ちたかったんです。

元々転勤族で、いつ異動が命じられるか分からない身分だったことも影響していた
と今では思います。

つまり、現状の不満や不安を解消できるのはFXだけだ！と信じて疑わなかったわけです。

なのでトレードに関することはいつも本気。
情報収集や検証、トレードノートなど、ちょっと面倒な事も進んでやりました。
そうしないと、他の市場参加者を出し抜けないと思っていたからです。

そういった努力の結果が今に繋がっているわけですが、今改めて当時の熱意を思い出すと、
「やっぱり凄かったんだろうなぁ」と自分でも思うんですよね。

つまり、ハングリー精神の塊だったわけです。

常に自分が今後「どうなりたいか？」を考えて、イメージして、
それを成し遂げるためには具体的にどういった行動をとっていけば良いのかを考えて・・

こういった戦略を考えるのはとても楽しかったですし、
今思えば、当時は勝てていなかったけど幸せでした。

一つの目標に向かって頑張っている時って、その時々は辛いことも多いですが、
後になって思い返すと「楽しかったなぁ」と思いますよね。

こんな感じでハングリー精神はとても重要だと思っています。

自分でハングリー精神を刺激するには、将来の自分をイメージすることです。

FXで利益を出せるようになったら、具体的に自分は何をしたいか？
どんな生活を送って、どんなことをやって、その時はどんな気分で過ごしているのか？

といったことをリアルにイメージすると、モチベーションも上がってきます。

このモチベーションを上手に使ってやることさえできれば、
きっと最短で目的は叶うはずです。

精神的なこと、これも技術のうち。
自分で高めること。自分でやる気になること。
これも、技術のうち。

初代タイガーマスクの佐山サトルさんの言葉です。
僕はこの言葉が大好きです。

連敗に耐える

トレードでできるだけ避けたいのが「連敗」ですね。

1回損切りした程度じゃ何ともありませんが、2連敗すると「ん？？？」
3連敗すると「何が悪いの？クソッ」、4連敗すると「手法が悪い」・・・
みたいになった事はないでしょうか？

連敗はトレーダーのメンタルに大打撃を与えるトレードの中でも嫌な存在です。

できれば連敗を避けたいからこそ勝率の高い手法を人は求めるんだと思います。
世の中には損切りをせずに耐える手法もあるくらいですし・・・。

ただ残念ながら、連敗は避けられません。
僕も1日に3連敗、日を跨いで4連敗ということはザラにあります。

勝率にもよりますが、連敗する事って思っているよりも多いんですよね。
勝率5割であっても、勝ち負けが交互に続くわけじゃなくて、
勝ちが5回連続で続くこともあれば、その逆もあるわけです。

連敗は避けられない・・・とするならどうしたらいいのでしょうか？

答えは、連敗を受け入れるか、トレードをやめるしかないですよね。

トレードをやめるという選択肢は置いといて、
どうしたら連敗を受け入れられるんでしょうか？

それは、「連敗があっても勝てる」という事実を知ること、体験することです。

トレーディングは、確率のゲームという点は否定できません。

僕個人としては「最高のポイント！」と思ってエントリーしたとしても、
それが損切りにヒットすることもよくあるわけです。

そうなる理由は、僕がエントリーした後に相場を動かすのは、
世界中で取引している人たちだから。

自分の意思ではどうしようもないところで相場が動いているわけですから、
どうしても確率の話になるわけです。

たまに、「自動売買はドローダウンがあるが、裁量トレードはドローダウンは無い」
と言ったブログ記事を見かけますが、そんなことはありません。

自動売買だろうが裁量トレードだろうが連敗の波はありますよ。

むしろ、裁量トレードはドローダウンが無いと信じるからこそ、自分が連敗したときに、
信じていることと現実のギャップから大きなストレスを受けて暴走するんですよ。

まずはこの事実を受け入れましょう。
次は検証の数をこなして「トータルで利益を出せる」ということを経験しましょう。

この検証の過程を詳しく見ていくと、勝ちの連続と負けの連続があると思います。
思っていた以上に負けの連続があるはずです。

それでも、そこそこ連敗があったとしても、トータルではプラスになるはずです。

こういったことを何度も繰り返すと、連敗を受け入れられるようになります。

「自分の1回1回のトレードは、今後何千回とやるトレードの1つに過ぎない」
と思えるようになって、ちょっとした勝ち負けの連続で精神が揺さぶられないように
なります。

このレベルに達すると、強いです。
少なくとも大損する事はないでしょうし、多くの場合で利益が出せるレベルでしょう。

トレードでは手法も大事ですが、手法を継続できるだけのメンタル、
考え方も同じくらい大事なんですね。

連勝で調子に乗らないために

このブログの読者さんからこのようなコメントを頂きました。

連勝が続く（結構何十連勝したりします）と何をしても勝てるでしょう病になり
きちんと相場の神様からきつーいお灸をすえられてしまいます。

ちょっと勝ったぐらいでいいかげんなトレードをして泣かされてしまわないように
のってぃーさんが心がけていることがあればぜひとも教えてください。

連勝が続いたら調子に乗ってしまうのが人間です。

調子が良すぎると、「相場は自分のポジションの方向に動くんじゃないか？」と
勘違いしてしまっていた経験が僕にもあります。

まぁその後は大きなしっぺ返しを食らうわけですが・・・。

現実を言えば、1回1回のトレードの勝ち負けは運による要素が非常に大きいです。

勝率の高い手法であっても、勝率が100%ではない限り、
次のトレードで勝つか負けるかはその時の相場次第、つまりは運です。

連勝が続くのは単に運が良かっただけ。
連敗が続くのは単に運が悪かっただけ。

これが事実です。

なぜなら、自分がポジションを持った後の相場の動きについては、
自分自身が相場に何のインパクトも与えられないから。

ロングポジションを取った後に相場が上げるためには、
他の市場参加者がロングしてくれないといけないわけです。

毎回他の市場参加者を読むことなんてまず無理です。

僕たちトレーダーが出来ることととと言えば、あくまでも統計的に
「上げやすいポイント」や「下げやすいポイント」に絞ってエントリー＆エグジットを
繰り返すだけです。

この試行を繰り返す中では、連勝が続くこともあれば連敗も続くことがあります。

トレーダーはこの過程の中で調子に乗ったり、必要以上に失望したりするわけですが、
ルールに則ってやっている以上は、これは避けられない運の要素なんですよ。

これをしっかりと理解してやれば、連勝で調子に乗りすぎることも減るでしょう。

まぁトレードをやるのは人間なんで、完全に無情になることは無理ですけど、
「運」という考えを取り入れてやれば、謙虚なトレードができるようになりますし、
メンタルの上下の変動幅が徐々に小さくはなると思います。

1回1回のトレード結果は運であることを理解するためにやること

各トレードの結果は運です。

運ではありますが、裁量トレードをやっているとどうしても

・エントリーしなければよかった
・エントリーしておけばよかった
・損切りになる前に逃げとけばよかった
・損切りが早すぎた

といった感情や後付けが邪魔して「運」を理解しにくくなります。
なので、「運」を理解するには後付けも後腐れのないサイコロを転がしがベストです。

やることは簡単。

延々とサイコロを振って、出た目を記録するだけです。
6面体のサイコロであれば、各数字が出る確率は6分の1です。

なのに、不思議なことに同じ数字が3連続、4連続して出てくることがあります。
でも統計を出すとどの数字も出現率は6分の1に収束します。

「そんなの当たり前じゃん！」と思う人も多いでしょう。
多くの人がこの事実を知っています。

でも、いざ自分がトレードしていると、単に運が良いだけのなのに、
「全ては自分の実力だ！！！」と調子に乗ってしまうものなのです。

こうならないためにも、自分の手でサイコロを振って、記録して、
「運」を体験するわけです。

1回の試行結果がどれほど運の要素に支配されているかを本当の意味で理解するんです。

おそらく、この記事を読んで納得した人の99%が実際にサイコロを振らないでしょう。
でも実際にやれば「運」の存在を理解して体験できるはず。

運の存在を本当に理解しているかしていないか。
実はトレードで利益を出し続けるためには欠かせない要素じゃないかなと僕は思います。

毎日どれくらい検証とかやってる？

このような質問を頂きました。

のってぃーさんほどの自信を持っていてもバックテストしない日が続いたりすると
ルールを破ってしまったり、甘いエントリーに成ったり、もしくは機会損失が出やす
かったりなどのことがあるのでしょうか。

また現時点でスキルを維持するために日々どれくらいの検証やバックテストの
練習量を確保していますか。

僕はトレード終了後にトレードノートを書いて、翌日に前日のトレードを再度見直します。

そこで気になる動きがあったら、
MT4のストラテジーテスターで動きを再現して色々と考えます。

まぁ日々のトレードに関してはこれくらいです。
でも週末には1週間分のトレードを必ず見直してますね。

今のところ、その日のトレードの前には必ず前日トレードの見直しをやることを
習慣化していますし、やらないと気持ち悪いレベルになっているので何とも言えませんが、
これをやらなくなったら、地味に技術が衰えてくるとは思います。

いや、技術が落ちるのが分かってるから、トレードノートや
定期的な見直し何度検証を続けているんだと思います。

フランスのピアニストのアルフレッド・コルトーの有名な言葉があります。

１日練習しなければ自分に分かる。
２日練習しなければ批評家に分かる。
３日練習しなければ聴衆に分かる。

技術職ってのはこういったモノだと僕も思います。

実戦⇒見直し⇒反省⇒練習⇒実戦・・・・

この地味な繰り返しが絶対的に必要なんでしょうね。

自分が初心者の頃にアドバイスするとしたら？

早いもので今年でFXを始めて12年。
そして今月でこのブログを始めて6年目に入りました。

FXもブログもこんなに長く続けられていることに自分でも驚いています。

今でこそ専業トレーダーとしてやれていますが、
トレードを始めたばかりの頃なんて、ダメダメでしたからね。

でも、「トレードで人生を変える」と決めて、

希望⇒苦悩⇒束の間の喜び⇒絶望⇒奮起⇒希望・・・

というサイクルを何度も何度も経験して徐々にトレード技術が上達しました。

そこで、初心者の頃の自分に対して何をアドバイスすべきだろうか？
と考えたところ、以下の3点が思い浮かびました。

・トレードは難しいことを受け入れろ
・「絶対」はないぞ
・トレードノートを付けろ

それぞれについてまとめていきます。

トレードは難しいことを受け入れろ

今思うと、僕が初心者の頃はトレードを舐めていました。

相場分析についても、
「上か下かを予測するだけなんだから、そこまでやらんでも・・・」
と思ってテキトーにやってたくらいですので。

でもそれじゃ全然ダメですよね。

自分なりのやり方を見つけて、それを使いこなせるようになるために努力する。

このプロセスがないとトレードでは勝てません。

自分の手法を使いこなせるようになるには、
技術面も大切ですし、相場に対する考え方も変えていかなくてはいけません。

この二つを同時進行しながらやっていくわけですから、
まぁ辛いことも多いですよね。

「トレードは簡単に稼げる」という考えがずーっと頭にあったら、
まず「割に合わない」と思うことでしょう。

だからこそ最初から「トレードは難しいから本気で取り組め！」と言いたいですね。

「絶対」はないぞ

トレードには絶対はありません。

「ココは勝てるポイントだ！」
と思ってエントリーするも損切りになったことが何回あるでしょうか・・・。

相場が動いた明確な要因は分かりません。
ニュースなどでは色々と言われますが、その時に取引していた人たち全員に
理由を聞かないと分からない訳です。

ですから、相場の動きを100%予測することなんて無理なんです。
だから「絶対」はありません。

「絶対」が無い以上、相場で上手く行かなくなった時のことを考えるべきです。

トレードが上手く行かないときにトレーダーの真の技術が発揮されます。
巧みな資金管理や撤退戦略などがないと、生き残るのは難しいです。

自分は大丈夫だろ・・・と決めつけずに、
一番最悪なことが起きたときの対処法を想定しておくべきです。

トレードノートを付けろ

過去のチャートを見て手法の優位性を確認することは大事です。

ですがそれと同じくらい、いや場合によってはそれ以上大切なのがトレードノートです。

自分の取引について詳細に記したトレードノートは、
あとで見直したときに自分の悪い癖や傾向が見つかる最高の教材になります。

トレードノートを付けるか付けないかでその後のトレーダーとしての成長は
全く違うモノになると言い切れるほど重要です。

実際、僕の教材を購入された方で「勝てるようになりました！」
と連絡をくれる方の多くが、トレードノートを書いて、自分自身を見直して、
毎月目標を立てて、それを実践して・・・というサイクルで技術を向上させています。

なので、トレードノートは勝つためには必須だと僕は思っています。

また、現実問題として過去の相場を検証する人は多いですが、
わざわざトレードノートを書いて、それを分析する人はそれほど多くありません。

つまり、トレードノートを書いて自分自身を検証すれば、
他のトレーダーと比べてさらに頭一つ抜け出すことができるわけですね。

ゆっくりゆっくり成長するモノ

今回は自分自身が初心者の頃に何をアドバイスするか？をまとめてみました。

トレードで勝てるようになるってのは楽な道じゃないですけど、
勝てるようになるためのプロセスはあります。

そのプロセスに則って長い目で見てトレードを続けていく。

早く結果を出そうとするのは逆効果です。
ゆっくりとやって技術を高めていくのがトレードの本質じゃないかなと思います。

損失回避型から脱出するために！

先週、このようなメールを頂きました。一部を抜粋します。

マニュアル通りに手法を学んで検証を続けてきました。

デモトレードを3ヶ月続けて月単位ではずっとプラスが続きましたので、
今月からリアル口座で取引を始めています。

しかし、リアル口座になると損切りになって口座資金が減るのが苦痛で苦痛で、
エントリーポイントが来ても負けるのが恐くてエントリーを見送ることが多くなりました。

自分のやり方で勝てると分かってはいるのに
それ以上に損失が恐くて思うようなトレードができずに辛い状態です。

何か打破するヒントが頂ければ幸いです。

トレード初心者はトレードで「損する」ということを知らないので、
ガンガンエントリーしていけるんですけど、ある程度経験を積むと、
損失の辛さを知ってるので尻込みしてしまうんですよね。

K-1でボブ・サップが有名になり始めた頃は、その巨体のおかげで恐いもの知らずで
ガンガン殴り合いに行っていました。それが本当に見ていて面白かったです。

でも、本格的に格闘技を習って、試合を重ねて、殴られる「痛さ」を知った後は
あまり前に出られなくなって負ける事も多くなった・・・みたいな状況と同じですよね。

人間、「痛み」を知ってしまうと、積極的になれなくなります。
この傾向が極端に強いと、損失回避型のトレーダーになります。

つまりは、損切りになることを恐れてしまうわけです。

でも、ルールを破って損切りを無視するほど愚かではないため、
今度はエントリーそのものを避けようとしてしまうわけですね。

これだと本末転倒ですよね。
でも、ある程度経験を積んだトレーダーなら一度は通る道じゃないかなと思います。

できることなら損失は避けたいってのが本音ですし・・・。

これを克服するにはどうするか？

結局のところ負けトレードを避けようとするのではなく、負けトレードを受け入れられる
ようになるしかありません。

だってこれからトレードを続ける限り、損切りは避けられないわけですから・・・。

そのためにも、まずは損切りを「痛い」と感じないレベルのロットから
再スタートする事をオススメします。

それで続けて、トータルで利益が出れば自信が付くでしょう。

「負ける事もあるけど、トータルで勝てるんだ！」と理論的にも経験的にも
理解できるハズです。

それが出来たら徐々にロットを上げていく。

調子に乗って一気に上げるのはダメです。ペースが乱れますので。

早く利益を出したい気持ちはわかりますけど、
資金管理はトレードのメンタルにも大きな影響を及ぼします。

決して焦らず、ゆっくりと。

感覚的には「ちょっと遅いんじゃないの？」と思うペースでも悪くないと思いますよ。

最後の最後に広告を・・・。

僕のトレード手法と考え方につきましては、詳しく解説したマニュアルを
販売しております。

数あるトレード手法の中でも有効性の高いされる「**押し目買いと戻り売り**」
をGMMAとRCIを使って仕掛ける手法です。

販売開始を開始したのが2014年で、既に色々な方からご購入頂いており
「わかりやすくて具体的で実践しやすい」と好評をいただいています。

また、教材購入者の方の中には専業トレーダーになられた方もいますし、
多くの勝ち組トレーダーを輩出しています。

そして2019年12月に内容を更にパワーアップした改訂版をリリースしました。
こちらの方は初版以上に「分かりやすい！」「勝てるようになった！」
といったご感想を頂いています。

トレードで勝つのは簡単ではありませんが、真面目にトレード技術を手に入れたい、
トレードで人生を変えたいと思う方にオススメします。

マニュアル購入者の方向けに、サポートブログもあります。
サポートブログの方では

・MT4用のインディケーターとテンプレートのダウンロードと設定方法の解説
・無料でできるMT4を使ったトレード練習方法の解説
・効率の良い検証方法の解説
・マニュアルでは書ききれなかったチャートやトレードの補足事項
・購入者の方から頂いた質問の解説

・FT2(FT3やFT4でも利用可能）のGMMAとRCIのインジの配布（製作者様のご厚意です）
・トレード解説

等をやっています。マニュアルを一度読まれたら、サポートブログの方も一緒に
読んで頂ければ、より一層理解が深まると思います。